

山口県立こころの医療センター広報誌

こころだより

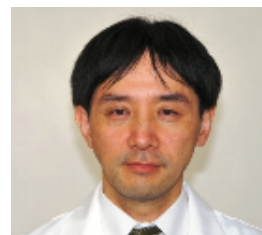
2010秋号



編集 広報委員会
発行 山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波4004-2
Tel. 0836-58-2370

『精神科医療が向かうべき改革の道』

院長 兼行浩史



精神科の医療とはいかにあるべきか、携わる私たちが常に問い続けている大切な課題です。昨今こころの健康が重視され続けており、振り返れば、私が精神科医となった23年前にも、『これからは精神科が大切。』と盛んに声を掛けられたものです。

精神科医療が、社会の中でどのような役割を果たすべきなのか、また医療全体の中でも精神科がいかなる役割を担うべきなのか、これらは大切な課題であり続けています。

私が最近意識している言葉に、グローカリズム（Global+Local）という造語があります。『全体的（グローバル）な視点を保ちながらローカルに生きる』といった吉田松陰先生も説かれた考えです。医療に携わる私たちには、まさにこうした視点が必要であり、全体の向かうべき方向を模索しながら、目の前の患者さんとの治療に取り組み、誠実に支援することが求められています。

我が国の精神科医療の現状では、慢性的に入院する病床が過剰であることに収容主義として国際的な批判を受けており、本来重要な総合病院精神科は全国的に縮小するとともに、全国精神科クリニックは20年間で4倍に急増しています。平成20年の厚労省患者調査では、いわゆるうつ病で医療を受けている患者さんの数が100万人を越えたと発表され衝撃を与えました。自殺既遂者が12年連続で年間3万人を越える悲しい事態が続いていることは、精神科医療があるべき方向に改革されていない傍証の一つと言わざるを得ません。

それでは、精神科医療はいかなる方向で改革されるべきなのでしょうか？混沌とした中、今年度に入り、私たちを勇気づける新たな提言書がまとめられました。『こころの健康政策構想会議』と名付けられた会議は、厚労省の支援下で、第一線の専門家や有識者が集結して、当事者・家族からの意見を積極的に取り入れ、改革の方向性を示す重要な提言をまとめました。その代表を務められたのが都立松沢病院の岡崎祐士院長であり、平成19年3月に当院の新入院棟開設記念講演会でお招きした先生です。改革の方向性として、①多職種チームやアウトリーチ（地域訪問）の実現、②精神科救急医療の充実、③専門医療の普及を挙げており、患者さんの地域生活支援、同居する家族の支援を重視しています。

現在、この提言の実現に向けた厚労省の検討会議が進められています。ご紹介した提言書にご興味の方は、当院外来の窓口に出して頂ければ、概要のコピーを差し上げますので遠慮なくお声掛け下さい。私たちは、皆様のご理解とご協力を得ながら、少しずつ堅実に改革の道を行く使命を抱いております。

山口県立こころの医療センターのご紹介

今回は院外向け広報誌創刊にあたり、当院の理念や概要などをご紹介します。

基本理念

病院理念

県民の心の健康を支える質の高い医療の提供

基本理念

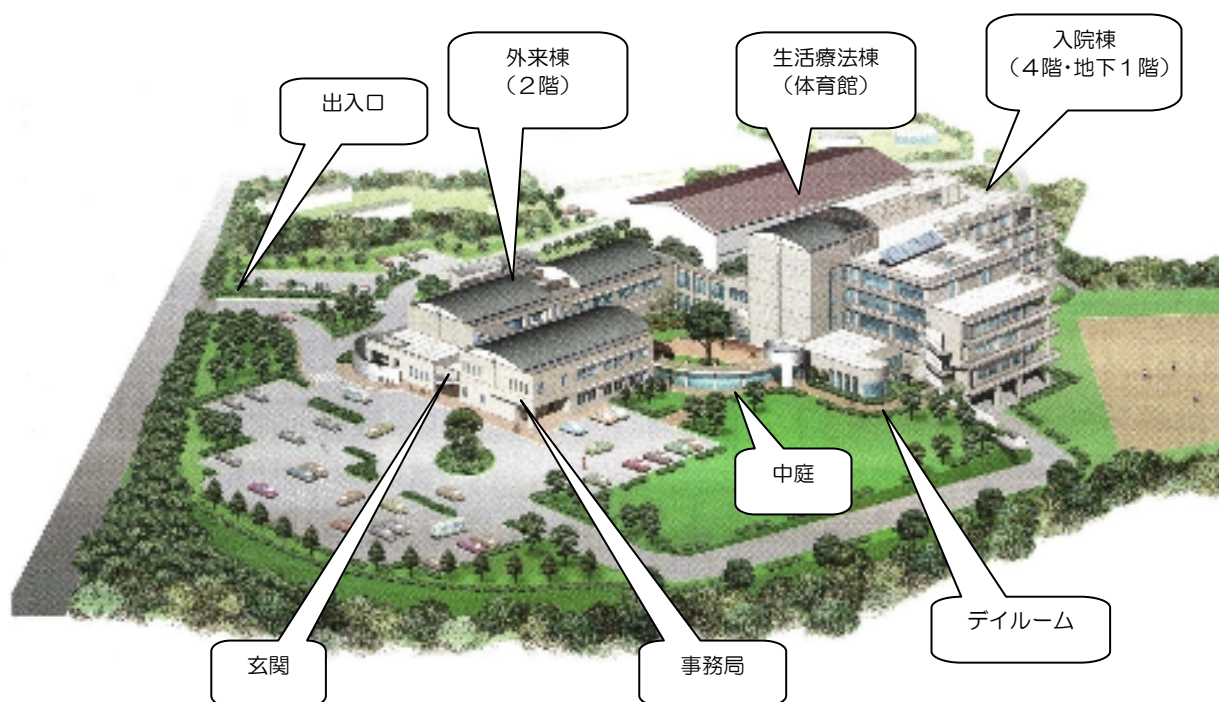
- 1 急性期を中心とする医療
 - 2 人権を尊重する医療
 - 3 患者・家族と共に歩む医療
 - 4 社会復帰を促進する医療
 - 5 地域社会と連携する医療
- の実践



施設のご案内

当院は、外来棟、入院棟、生活療法棟で構成されており、平成19年3月に新入院棟を、平成20年9月には新外来棟を開設しました。

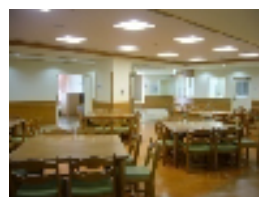
新病院は、閉鎖的なイメージを払拭する明るく親しみやすい建築デザインとなっています。



外来棟 エントランス



入院棟 病室



入院棟 テイルーム



体育館

診療のご案内

■ 一般外来・専門外来とも予約制となっております。

予めお電話でご予約されてご来院ください。

TEL：0836-58-2370(代) 外来担当まで(平日 8:30~17:15)

(9月1日現在)

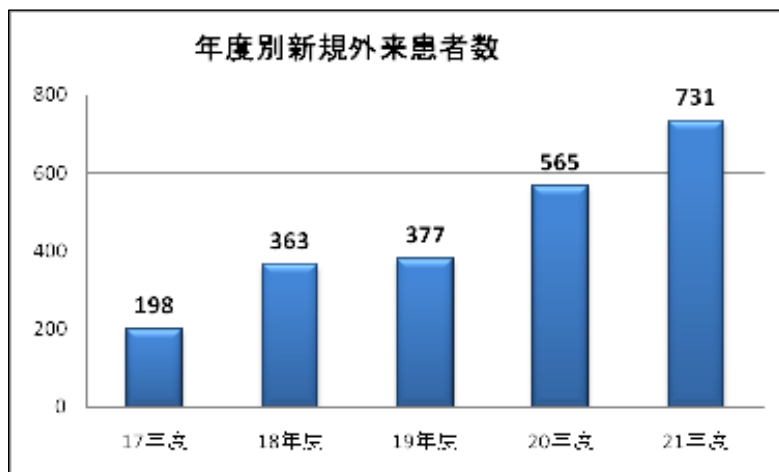
一般外来	
診療科	精神科
診療受付時間	【午前】8:30~11:30 【午後】1:30~3:30
休診日	土、日、祝祭日、年末年始

外来診察担当医師						
	初診		一診		二診	
月	兼行	浩史	磯村	信治	藤田	実
火	磯村	信治	河合	宏治		
水	加来	洋一	村田	由紀	新造	竜也
木	藤田	実	兼行	浩史	角田	武久
金	河合	宏治	藤田	実	加来	洋一

専門外来	
思春期外来	火…村田 水…加来 精神科疾患の早期診断と治療介入と思春期における行動障害の治療を行います。
物忘れ外来	月…兼行 水…兼行、中山 認知症の診断、その原因となる病気の診断、治療可能な病気を鑑別します。
高次脳機能外来	水…兼行、中山 身体障害者福祉センター(083-925-2345)と連携して、事故や病気で障害を受けた高次脳機能障害の診断と治療を行います。
アルコール依存症外来	木…藤田 アルコール依存症の診断、治療を行います。

当院の新規外来患者数

新規外来患者は年々増加傾向にあり、平成21年度は731人で、前年度と比べて166人、約1.3倍の増加となりました。5年前と比べると533人、約3.7倍増加しています。



ホームページをリニューアルしました

当院のホームページが新しくなりました。

今後は、患者さんやご家族、地域の皆さんが必要とする情報を、必要な時にわかりやすく提供していきたいと思っております。

まだまだ不十分なところもありますが、順次充実させていただきますので、これからもよろしくお願ひします。

新しいホームページのアドレスは以下のとおりです。ぜひ一度ご覧になってください。

<http://www.y-kokoro.jp>



夏祭りを開催しました

8月26日（木）に第57回こころの医療センター夏祭りを開催しました。

今年も地域の皆さんや患者さん、ご家族など多くの方々にご参加していただきました。

かき氷、金魚すくい、輪投げなどたくさんの出店があり、暑いなかでしたが、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層で交流を図ることができました。



第48回自治体病院連絡協議会開催～in島根～

平成22年9月1日～3日の間松江市にて精神科部会の総会・研修会が開催されました。

今回は島根県での開催でしたが、全国から多くの参加があり、熱心な討議がなされ、盛況のうちに終了しました。

来年度は当院の引き受けとなります（平成23年8月24日～26日の間開催予定）。



交通アクセスのご案内



【最寄りの駅・バス停】

- ・JR宇部線「丸尾駅」 徒歩 15分
- ・宇部市営バス「東岐波中学校前」 徒歩 10分

山口県立こころの医療センター

〒755-0241

山口県宇部市東岐波 4004-2

TEL:0836-58-2370

FAX:0836-58-6503

URL:<http://www.y-kokoro.jp>